

令和6年東御市議会12月定例会 招集あいさつ

(令和6年12月2日 午前9時開会)

1 はじめに

全国各地で初雪や初冠雪の便りが届き始め、冬の到来を感じる季節となりました。

本日ここに、令和6年東御市議会12月定例会を招集申し上げましたところ、議員各位におかれましては何かとご多用の中ご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

2 諸般の情勢

政府は日本経済及び地方経済の成長と物価高対策を柱とした39兆円規模の「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」を11月22日、閣議決定しました。

対策の中には、賃金・所得の増加に向けた経済の成長戦略、こども・子育て支援など誰ひとり取り残さない社会の実現に向けての取り組みなどが盛り込まれております。

また、年収が103万円を超えると所得税が発生するいわゆる「103万円の壁」の見直しについても、人手不足が社会的課題となる中、「働き控え」の解消と実質賃金の増加などが期待でき、注目されているところであります。

一方で、単純に「103万円の壁」を引き上げた場合、地方公共団体では大幅な税収減となり、行政運営に深刻な影響を及ぼすことが懸念されます。

11月28日に招集された第216臨時国会において、石破首相は29日の所信表明演説の中で、「2025年度税制改正で議論し引き上げる」と表明しました。

国には地方財政に配慮した対策を進めるとともに、実効性のある政策を早急に実行していただくことを期待しております。

また、内閣府において、11月15日に発表した2024年7月から9月期の実質国内総生産（GDP）は、物価高が続く一方、賃上げによる所得環境の改善により、個人消費が堅調に推移したため、前期比0.2%、年率換算では0.9%の増となりました。

しかし、中国の景気低迷もあり輸出は振るわず、円安等の影響も加わり日本経済の先行きは依然として不透明であります。

市といたしましても、国等の動向や経済状況を見極めながら、直面している諸課題に対し、有効な施策をいち早く実現し、その成果を市民の皆様実感していただけるよう最大限の取り組みを行ってまいります。

（日本ワインブドウ栽培協会との協定締結式）

9月27日、一般社団法人日本ワインブドウ栽培協会と連携協定の締結を行いました。

市が昨年度取得した長野県が所有していた、いわゆる旧北御牧試験地を拠点として、これまで同協会が培ったワイン用ぶどう栽培に関する知見を活かし、温暖化などの気候変動に対応した品種の育成や、理科学的根拠に基づく栽培・技術の普及・促進に取り組み、ワイン産業による更なる地域振興と、千曲川ワインバレーの中核としての役割を果たしてまいります。

（ワインテラス御堂オープン）

10月3日、事業推進にご理解とご協力を賜りました関係者の皆様ご列席のもと、10年間かけて進めてまいりました、祢津御堂地区整備事業の集大成となる「ワインテラス御堂」のオープ

ニングセレモニーを開催しました。

今後は、日本屈指の広さを誇る圃場から収穫されたぶどうで醸造されるワインのラインナップを増やすとともに、御堂地域活用構想推進協議会と協働して、東御ワインの魅力を広く発信し、ワインシティとうみの更なる発展に繋げてまいります。

(地域づくり懇談会)

10月7日から23日にかけて、地域と市が主催する「地域づくり懇談会」を、市内5地区で開催いたしました。

240名を超える市民の皆様にご参加いただき、各地区の地域ビジョン実現に向け課題となっている、空き家対策のほか、少子化対策、地域資源の活用などについて、地域自らができること、行政の支援を要望すること、協働により取り組むことにそれぞれの視点から意見を交わし、必要性を確認しました。

引き続き機会を捉え、議論を深め地域づくり支援に取り組んでまいります。

(島根県雲南市との災害時相互応援協定調印式)

10月12日、ともに身体教育医学研究所を設置している縁で、これまで様々に交流を深めてまいりました、島根県雲南市と「災害時相互応援に関する協定」を締結しました。

大規模災害の同時発生に対しリスクヘッジすることで、有事の際への対応強化と、復旧・復興に向けた迅速な取り組みにつなげて参ります。

(火のアートフェスティバル・天空の芸術祭)

10月12日、13日の両日、「火のアートフェスティバル2024」を開催いたしました。今年はテーマを「新しい”とう”御」とし、毎年恒例の登り窯焼成や陶芸ワークショップに加え、20周

年記念事業の刀剣展と連動した企画を盛り込むなど芸術の秋を満喫していただけたものと感じております。

また、10月19日から11月9日にかけては、今年で8回目を数えます東京藝術大学との域学連携事業「天空の芸術祭2024」が開催され、アートを活用した地域の賑わいづくりとして定着しつつあると感じたところでもあります。

(高齢者等の地域見守り活動に関する連携協定締結式)

10月29日、市内個人宅への配送を行う11の事業所と「高齢者等の地域見守り活動に関する連携協定」を締結しました。

本協定は、日頃から商品や荷物の集配送時に市民と接する機会が多い事業所と市が、相互に協力連携をして見守り活動を実施するものであります。

この協定を契機として、安全安心な地域コミュニティの醸成や、地域福祉の向上に繋がっていくものと期待しております。

(くらしを見直そう展)

11月2日、22団体の参加により「くらしを見直そう展」を開催いたしました。今年度はキッチンカーや「うえたん号」の参加もあり、雨天にも関わらず多くの皆様にご来場いただきました。

この催しを通じて、消費者及び生活者が豊かに暮すために、環境負荷の低減などに向けた取り組みを、ひとりひとりが実践していくことがいかに重要であるかを、改めてご確認いただけたものと考えております。

(海野宿ふれあい祭り)

11月3日、「第30回海野宿ふれあい祭り」が開催されました。お祭り当日は、恒例となっている時代衣装行列、海野宿内の

建物開放の他に、地域おこし協力隊の企画による「キツネの嫁入り行列」も行われ、大いに盛り上がりました。

当日は、晴天に恵まれ、市内外から訪れた、およそ4,600人のお客様に宿場の雰囲気をお楽しみいただくとともに、改めて海野宿の魅力を広くアピールできたものと考えております。

(冬山安全祈願祭)

11月22日、ウインターシーズンの到来を前に、湯の丸高原スキー場の安全と雪山シーズンの賑わいを祈念し、湯の丸高原冬山安全祈願祭が湯の丸高原スキー場第1ゲレンデで執り行われました。

湯の丸高原スキー場は、雪質もよくパウダースノーを楽しめるスキー場であり、毎年多くのスキーヤーやスノーボーダーが訪れ、都心から一番近いスノーリゾート地として満喫いただいているところであります。

今シーズンも、大勢の皆様に来訪いただき、大いに賑わうことを期待しております。

(刀剣振興)

9月14日より開催された東御市発足20周年特別企画「東御の刀鍛冶一繋ぐもの一源清磨、山浦真雄、山浦兼虎、そして宮入法廣へ」が11月24日をもちまして終了しました。

この間、多くの方々にご来館いただき、11月23日には来館者1万人達成記念セレモニーを開催しました。

また、これを機会に市内での滞在を楽しんでいたいただいている様子をSNS等で数多く拝見したところでもあります。

企画展を通じ、来訪者から市内外に東御市の魅力が発信されることにより、更なる知名度の向上やイメージアップなどのシティープロモーションに繋がったものと実感しております。

3 提案議案の説明

それでは、本定例会に提案いたします議案につきまして、順を追ってその概要を申し上げます。

(補正予算)

まず、議案第87号から議案第89号までの3件は、「一般会計」、「国民健康保険特別会計」及び「介護保険特別会計」に係る補正予算でございます。

はじめに、議案第87号「令和6年度一般会計補正予算（第9号）」につきましては、歳入歳出予算にそれぞれ6億6,268万2,000円の増額をお願いするものでございます。

主な内容としましては、障害者自立支援介護給付費、国の制度拡充に伴う児童手当費のほか、生活保護費、私立保育園等の運営委託料などの補正、並びに、花いっぱい運動花苗（栽培業務委託及び地域おこし協力隊員募集業務委託に係る債務負担行為）につきましても、補正をお願いするものでございます。

次に、議案第88号「令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）」は、被保険者の医療給付費分の納付金などの決定に伴う補正のほか、保険給付費等交付金に係る過年度精算返還金などの補正をお願いするものでございます。

次に、議案第89号「令和6年度介護保険特別会計補正予算（第3号）」は、居宅介護及び施設介護サービス利用等の増加に伴う給付費などの補正をお願いするものでございます。
詳細につきましては、それぞれ担当部長から説明を申し上げます。

続きまして、条例の議案についてご説明申し上げます。

(条例の一部改正)

議案第90号から第95号までの6件は、印鑑登録証の交付手数料の見直しなど既存条例の一部改正でございます。

詳細につきましては、担当部長から説明を申し上げます。

(その他の案件)

議案第96号につきましては、温泉施設に係る権利を放棄させていただくことに関する議案でございます。

詳細につきましては、担当部長から説明を申し上げます。

本定例会に提案しました議案の概要は、以上のとおりでございます。

いずれも重要な案件でございますので、よろしくご審議をいただき、ご決定を賜りますようお願い申し上げます。

4 むすびに

国の情勢は日々変化し、地方公共団体を取り巻く環境は常に厳しい状況にある中、市民生活に直結する行政を担う自治体の首長に課せられた責務と果たすべき役割の大きさを、改めて感じております。

東御市の特徴を活かした魅力のある地域づくりを通して、市民の皆様が元気で輝き続けられる「ほど良く田舎とうみ」を目指し職員と一丸となり、全身全霊で務めてまいります。

市民の皆様並びに議員各位におかれましては、今後とも格別なるご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、本定例会招集のあいさつといたします。

令和 6 年12月 2 日

東御市長 花岡 利夫